

女性たちのあゆみDVD映像資料リスト

氏名	内容
赤 嶺 千 壽	強力なリーダーシップを発揮し女性の地位向上に活躍
安 里 要 江	沖縄戦で家族11人を失いながらも村議員として平和運動や女性の地位向上に尽力
新 垣 菊 子	9歳の頃より絵付けを学び、壺屋の女性陶工初の通産大臣認定伝統工芸士となる
糸 数 キ ク	コンピューター活用による「工工四(ククンシー)」点訳創案等で活躍した
上 江 洲 ト シ	初の女性県議会議員、平和の大切さと差別のない社会を創ることを信条に活躍した
大 城 光 代	沖縄初の女性弁護士・裁判官と、沖縄の女性法曹家の歴史を切り開く
我 謝 光 子	参政権行使運動に尽力「クーバー、ハタバー(妾)のいる男には投票するな」と演説
北 島 角 子	沖縄芝居の舞台から出発しテレビ・ラジオの活躍を経て幅広い演劇活動の新境地を拓く
金 城 千 代	「社会的自覚なき生活を恥よ」夫の戦死と米軍支配に抗し、草の根の反戦平和運動を展開
金 城 ハ ン ル	85歳まで鮮魚仲買人としてセリに立つ。「第一次サンマ裁判」の玉城ウシさんを姉に持つ
貝 志 堅 タ ケ	沖縄県生活改善グループ連絡協議会初代会長、「豊かで明るい暮らし」を追求した
久 場 と よ	女流美術家協会初代会長として、沖縄の美術普及や後進の育成にも尽力
島 本 幸 子	那覇米琉文化会館を足場に戦後復興期の文化・婦人活動に腕をふるう
下 里 信 子	民生委員、児童委員の先駆的役割を果たし、福祉の基盤を地道に築く
謝 花 悦 子	波乱に満ちた半生で学んだ反戦思想を伊江島「マチドゥタカラの家」で阿波根昌鴻と共に伝える
尚 弘 子	初の沖縄県女性副知事として活躍、沖縄の長寿と栄養に関する研究の第一人者
杉 原 洋 子	教師から転身、児童福祉へ。戦争孤児や非行児童たちの更生に情熱を注いだ
瀬 長 フ ミ	不屈の人「瀬長亀次郎」を支え、自身も那覇市議として様々な改革を成し遂げる
平 良 敏 子	全身全霊を傾けて戦後の芭蕉布復興に尽力、喜如嘉芭蕉布の里の第一人者
平 良 と み	NHK『ちゅらさん』のおばあ役で全国的大ブレイク、舞台を中心に映画やドラマでも活躍した
玉 城 カ マ ド	久米島紬の復興に際し、常に指導者的役割を担った「久米島紬」技能保持者
玉 城 ジ ラ	かまぼこの老舗「ジランバ屋」創業者、戦前の味を守り続けた業界の陰の功労者
田 本 成 子	「その立場になればその知恵が湧く」をモットーに琉球絃の指導者として活躍
知 念 芳 子	元国立療養所沖縄愛楽園総看護婦長。戦前戦後の愛楽園でハンセン病患者のために尽くす
津 嘉 山 澄 子	参政権行使運動に尽力「クーバー、ハタバー(妾)のいる男には投票するな」と演説
照 屋 秀	沖縄県母子寡婦福祉連合会初代会長、沖縄戦遺族の援護と母子寡婦福祉に貢献
當 山 景 子	農漁村の豊かで明るい暮らしやより良い生活の実現を求め、生活改善運動とともに歩む
徳 田 [きよ]	人生を生き抜く力こそ真の学力、それを培う読書運動に一貫して情熱を注いだ
渡 慶 次 ハ ル	沖縄幼稚園協会設立時の副会長、「取り残された幼稚園」問題を訴え幼児教育一筋に尽力
富 永 晟 恵 子	「宮古婦人同志会」創設、復興と婦人の地位向上をめざし、県女性初の管理職となる
仲 田 幸 子	沖縄芝居の劇団で初の女性座長、劇団でいご座を率い沖縄中に笑いをふりまく喜劇の女王
仲 嶺 俊 子	在野の貝類研究者。約1万種、60万点余におよぶ世界中の貝を収集・展示
中 村 文	「盲教育の母」と呼ばれ、戦後盲教育の再建に奮闘。退職後もボランティア活動に尽力
中 村 文 子	教え子と母を沖縄戦で失った癒えることのない悔恨から、平和運動を続けてきた
名 渡 山 千 鶴 子	紅型の復興に貢献、今では名渡山家の家業にまで発展。ご主人は画家の名渡山愛順氏
南 城 み よ し	荒廃した子どもたちの心に夢を与え、沖縄にバレエの基礎を築く
新 島 正 子	初の料理学院開校、琉球料理の研究と伝承に貢献し、調理師育成にも尽力
野 崎 文 子	国際感覚を生かして事業を起こし、郷土の復興と人材育成に力を注いだ。首里奨学母の会結成
比 嘉 澄 子	父・新垣松含の地を引く天性の素質と気さくで琉球舞踊の新たな可能性を問うた
平 敷 り つ 子	戦死した教え子たちの鎮魂と戦後の米軍支配への怒りを反戦平和の原点として活動
真 境 名 佳 子	「踊りは心であり徹底的に基礎を教えた体にもみ宿る」を哲学とし琉球舞踊の人材育成に尽力
真 玉 橋 ノ ブ	沖縄県看護協会初代会長、戦後の医療・看護分野に貢献し「ナイチンゲール記章」受賞
宮 城 カ ナ	山原の地で生活の近代化や婦人の地位向上に取り組み実践
宮 平 初 子	那覇伝統織物事業協同組合初代理事長、首里織の作家としても活躍
山 川 博 子	沖縄初ドレメ式洋裁教室や、沖縄ドレスメーカー女学院を開校し技術を伝授した
山 元 芙 美 子	婦人学級や会社学級、新生活運動やPTA活動など新時代の教育の基礎づくりに貢献
吉 川 文 子	復帰後二人目の女性教育委員、女性教育管理職のパイオニア的存在
吉 田 春 子	小児科医として母子保健と地域医療に貢献、「全琉赤ちゃんコンクール」の功労者
与 世 山 澄 子	子どもの頃から本場アメリカにいるような環境の中、ジャズシンガーとして腕をみがく
与 那 嶺 貞	55歳で読谷山花織の復興に従事、努力と研鑽を積んで花織をよみがえらせた

■これら映像資料(インタビュー)は『ていする』2階図書情報室で視聴できます■